

一般競争入札した結果、34億07万円(同)、低入札調査基
5800万円(税別)の戸田 準価格は46億7096万円 工事場所は中原区宮内3
建設・TSUCHIYA・織(同)で、低入札価格調査を突 22-1。

資格要件は市の指名競争入
札参加資格があることなど。
対象は県道78号御殿場大井

埼玉県三郷市は、常磐自動
Cの機能を拡充する。まず大
車道・三郷料金所スマートI
型車も通行できるようにし、

JIA神奈川 かながわ建築祭

日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会(JIA神奈川、小泉雅生代表)は21-24日の4日間、横浜市のみならぬ線馬車道駅コンコース・改札口や横浜メディア・ビジネスセンターなどを会場に、第30回JIA神奈川建築WEEK「かながわ建築祭2019」を開いた。各会場には多くの来場者が詰め掛け、シンポジウムなどに耳を傾けるとともに、展示された作品を見入っていた。

23日に横浜メディア・ビジネスセンターで開いたシンポジウムは、「『建築から環境へ』環境デザインの課題と可能性」



シンポジウムには多くの来場者が詰め掛けた

来場者詰め掛け大盛況 現横浜市庁舎の歴史的価値訴え

現市庁舎の歴史的な意義や果たしてきた役割、現代の価値、これからの可能性を、吉田綱市横浜国大名誉教授、田原幸夫京都工芸繊維大教授、笠井三義方サイアーキテックチャールデザイン代表取締役、小泉代表らで多面的に議論し、改めて現市庁舎の歴史的な価値と保存・活用を訴えた。



左から千場氏、笠井氏、星野氏、馬場審査委員、室伏氏、野沢審査委員長、飯田氏、近藤審査委員、納谷氏

馬車道駅コンコースで開いた神奈川の近代建築展では、神奈川県内の村野藤吾建築も紹介した。

一方、環境デザインのシンポジウムでは、田井勝馬副代表の司会の下、秋元孝之丞浦工大教授、荻原廣高大阪工大客員教授(アラップ・アソシエイト)、末光弘和SUPP代表が環境デザインの課題と可能性を探った。

■第3回デザインアワード/大賞に室伏氏の「北嶺町の家」

24日に馬車道駅コンコースで開いた第3回JIA神奈川デザインアワードでは、公開審査の結果、応募29作品の中から室伏次郎氏(スタジオアルテック)の「北嶺町の家」が大賞に輝いた。優秀賞には笠井三義氏(カサイアーキテックチャールデザイン)の「街のサステナビリティ(街歩きを通して)」、星野千絵氏(コバルトデザイン一級建築士事務所)の「Book&Cafe stand Shinjo Gekijyo」が選ばれた。

今回は「今、サステナビリティを考える」をテーマに募集し、室伏氏の作品は、1971年に竣工した自邸の現在に至るまでの変遷を描いたもので、家族構成などの変化とともに、骨格は変わることなく、微細な調整を繰り返しながら生活シーンに

応じてきた住宅のリアルなストーリーが高く評価された。審査委員長は野沢正光氏(野沢正光建築工房)、審査員は近藤哲雄氏(近藤哲雄建築設計事務所)、馬場兼伸氏(ピーター・エアキテック)が務めた。

審査員特別賞として、野沢賞に飯田善彦氏(飯田善彦建築工房)の「ミナガーデン十日市場」、近藤賞に納谷新氏(納谷建築設計事務所)の「360」、馬場賞に安田博道氏(環境デザイン・アトリエ一級建築士事務所)と石丸由美子氏(イシマル建築設計室)、千場弓子氏(studio BO5)の共同作品「とぎにわオフィス」が選ばれた。

■金賞に笹原さん(明大)、総合資格学院賞は前田さん(神奈川県大) / 卒業設計コンクール

また、同じく馬車道駅コンコースでは神奈川県内各大学の卒業設計コンクールも開かれ、公開審査の結果、金賞には7大学35作品の中から笹原淳平さん(明大)の「織木を編む」が輝



金賞に輝いた笹原さん



総合資格学院賞に選ばれた前田さん

審査は、委員長を木下庸子(設計組織ADH)、委員は遠藤克彦(遠藤克彦建築研究所)、仲俊治(仲建築設計スタジオ)、原田馬魚(MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO)の計4氏が務めた。個人賞として、木下賞に岩見遥果さん(慶大)の「Scrap Board」、遠藤賞に石田卓也さん(横浜国大)の「裏山風呂暮らし」、仲賞に藤田一摩さん(横浜国大)の「神保町古本キャンパス」、原田賞に十文字萌さん(明大)の「渋谷受肉計画」が選ばれた。